



2019年度 環境経営レポート

2019年4月～2020年3月

発行日：2020年7月1日

豊かに快適な環境を求めて…



®環境省
エコアクション21
認証番号0011545



～ 目 次 ～

1. 社是・経営方針・環境方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 2
2. 組織の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 3
 - 2-1. 事業者名及び代表者氏名
 - 2-2. 事業所所在地
 - 2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先
 - 2-4. 創業（設立）年月日
 - 2-5. 資本金
 - 2-6. 認証・登録範囲
 - 2-7. 事業の規模
3. 環境目標とその実績・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p 4～13
 - 3-1. 環境負荷の現状（令和元年度環境負荷自己チェック結果より）
 - 3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況
4. 環境活動計画と取組結果並びに次年度の取組内容・・・・・・・・ p 14
5. 指定管理施設の環境負荷について・・・・・・・・・・・・・・・・ p 15
6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無・・・・・・・・ p 16
 - 6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況
 - 6-2. 法令違反・訴訟等の有無
7. 代表者による見直しの結果・・・・・・・・・・・・・・・・ p 16
8. 環境コミュニケーションの取組・・・・・・・・・・・・・・・・ p 17～21

山形県地球温暖化防止県民運動推進大会におきまして、株式会社エービーエムは環境への取組について、山形県環境保全推進賞を受賞しました。



今年のグリーンカーテンは定番の『きゅうり』を大事に育てました。みんなでおいしく頂きました。



社 是

私達は、技術・知識の向上に努め
安全・安心・清潔のサービスをモットーに
快適な環境を社会へ提供します。

経 営 方 針

私達は お客様感動を達成します。
私達は 事故ゼロを継続します。
私達は 不祥事案を撲滅します。
私達は 環境方針を推進します。

環 境 経 営 方 針

環境理念

私たちは、ふるさとの豊かな環境を守り、持続可能な社会の実現を目指すため、環境マネジメントシステムの継続的な運用改善を図り、自らの環境負荷を可能な限り削減していくとともに、総合ビル管理、警備、指定管理等の業務を通じて、「安全・安心・清潔」に関する技術と真心サービスを提供しつつ、お客様の環境負荷の削減にも寄与してまいります。

環境行動指針

1. 環境関連法規等を遵守します。
2. 電力使用、化石燃料の消費に伴い発生する二酸化炭素を計画的に削減していきます。
3. 廃棄物を可能な限り削減するとともに分別を徹底し、リサイクル率の向上に努めます。
4. 節水に努め、水資源を大切にします。
5. 化学物質の使用量を削減していきます。
6. 社員のスキル向上により、業務の効率化を図り、他社との差別化を図ります。
7. お客様の環境負荷削減につながる提案を積極的に行い、可能な範囲で実践します。
8. 地域の環境保全活動に貢献します。

制定日：平成28年6月1日

最終改定日：令和元年5月1日

代表取締役社長 赤間俊明

2. 組織の概要



2-1. 事業者名及び代表者氏名

- 株式会社 エービーエム
- 代表取締役社長 赤間俊明

2-2. 事業所所在地

- 本社：〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田 584-2
- 南陽営業所：〒992-0472 山形県南陽市宮内 4641

2-3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

- 環境管理責任者：企画・人事部部長 田口浩之
- 連絡担当者：清掃業務部部长 遠藤雅之
- 連絡先：TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
- Email：m-endo@y-abm.co.jp

2-4. 創業（設立）年月日

- 1968年（昭和43年）9月

2-5. 資本金

- 1,000万円



2-6. 認証・登録範囲

1) 対象サイト：本社ならびに南陽営業所、指定管理施設

2) 事業活動：

警備業務（機械警備・常駐警備等）、清掃業務（日常清掃・定期清掃等）
ビル総合管理業務（設備管理・環境衛生管理等）、指定管理業務

2-7. 事業の規模

事業規模	事業年度	平成28年度 (H28.4~H29.3)	平成29年度 (H29.4~H30.3)	平成30年度 (H30.4~H31.3)	令和元年度 (H31.4~R2.3)
売上高(千円)		773,711	791,260	826,570	847,513
認証対象従業員数/全従業員数		229/263	234/268	280/280	280/280
従業員数:本社		38	38	38	38
従業員数:南陽営業所		7	7	7	7
床面積(㎡):本社		303.9			
床面積(㎡):南陽営業所		101.8			

※売上高は、当社会計年度(4~3月)に合わせて集計しています。従業員数は各年度4月時点での在籍数です。
従業員数には、業務受託現場に直行直帰する従業員は含まれていません。



3. 環境目標とその実績 (本社及び南陽営業所)

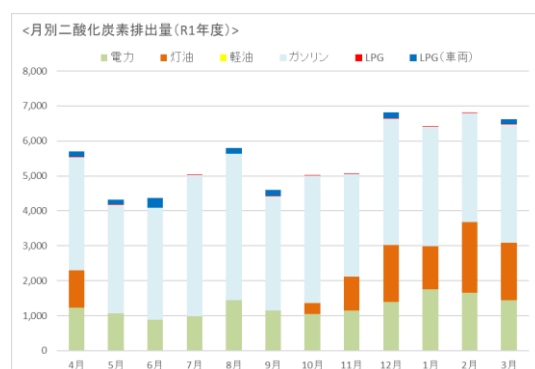
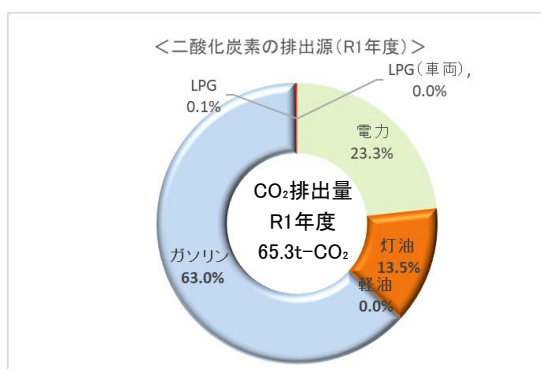


3-1. 環境負荷の現状(令和元年度環境負荷自己チェック結果より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H30年度東北電力(調整後:0.528)を用いています。

- 1)当社における令和元年度のCO₂排出量は合計65,349kg-CO₂となっており、前年度比9.8%削減しました。これは平均的な一般家庭16軒分の排出量に相当します。(平成30年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,150kg-CO₂:出典:温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2)当社から排出されるCO₂の63%はガソリン・軽油・LPG(車両用)の消費によるもので41,202kg-CO₂(前年度比6.5%減)、次いで電力の使用に伴うものが23.3%、15,202kg-CO₂(同8.4%減)、灯油の消費に伴うものが13.5%、8,849kg-CO₂(同11.0%増)などとなっています。
- 3)ガソリン・LPGは、業務用車両の運行に伴い消費し、電力は事務所の照明、冷暖房、消雪用井戸ポンプの稼働で使用しています。また、灯油は冬期間の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4)月別のCO₂発生量は12月~3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、灯油消費量の増加と消雪ポンプ稼働に伴う電力使用量が増加するためです。令和元年度は平成30年度に比して、暖冬だったことから灯油・電気の使用量は減っています。ガソリンは、月による変動にあまり特徴はありませんが7月、8月が多い傾向にあります。これは、猛暑の影響により冷房を使用しているためです。9月にハイブリッドカーを1台導入した結果、大幅にCO₂排出量は削減できました。(約6.5%)
- 5)以上のことから、特に車両運行に伴うガソリン・LPGの削減ならびに冬期間の暖房に伴う灯油、消雪用ポンプ稼働に伴う電力使用の削減などが重点課題となります。



■ 廃棄物排出量

- 1)一般廃棄物:可燃ごみ・紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、本社・南陽それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、本社379kg、南陽80kg、次いで紙類(再生資源)が本社335kg、南陽81kgなどとなっていました。なお、リサイクル率は本社44.6%、南陽51.9%となっていました。
- 2)産業廃棄物:汚泥(ワックス剥離液・洗剤廃液等)が大部分で全体の91.7%(1,940kg)を占めています。その他の廃棄物については、乾電池以外、管理受託現場から排出されたものとなります。

■ 総排水量(水使用量)

本社・南陽ともに融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。本社・南陽合わせて、501m³使用しました。前年比3.3%増加しました。なお、放流先は本社は公共用水域(浄化槽)、南陽は下水となります。

■ 化学物質使用量(購入量)



清掃業務に使用する洗剤、剥離剤等にPRTR成分を含有しているものがあります。令和元年度分の使用量は、2-アミノエタノールが3.8kgでした。



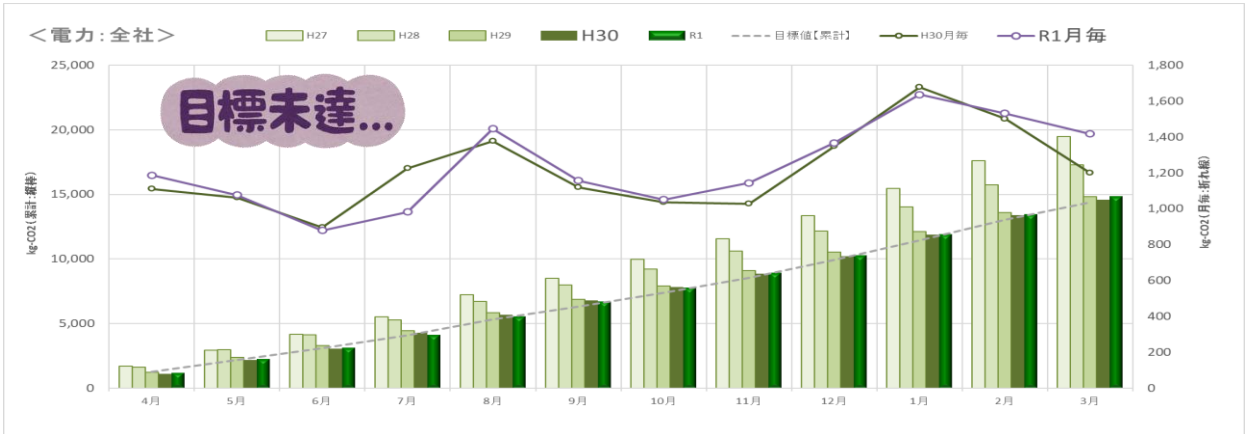
3-2. 環境目標（単年度・中期）と達成状況

環境経営方針との整合性を図りながら、環境負荷の自己チェックの結果を踏まえ、7項目（二酸化炭素、廃棄物、水、化学物質、グリーン購入、製品・サービス関連、山形エコアクション21対応項目）について、環境目標（単年度目標&5年間の中期目標）とその達成に向けた活動計画を策定し、取組を行いました。達成状況は下記のとおりです。

※冬期間、本社の消雪用地下水揚水ポンプに使用する電力については、積雪量によって大きく変動することから、数値目標の対象としていません。

■ 二酸化炭素排出量（電力）

【R1年度目標】（本社）H27年度比23%削減（南陽）H27年度比42%削減
【中期目標（H28~R2）】（本社）H27年度比23%削減を維持（南陽）H27年度比43%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4~R2.3）

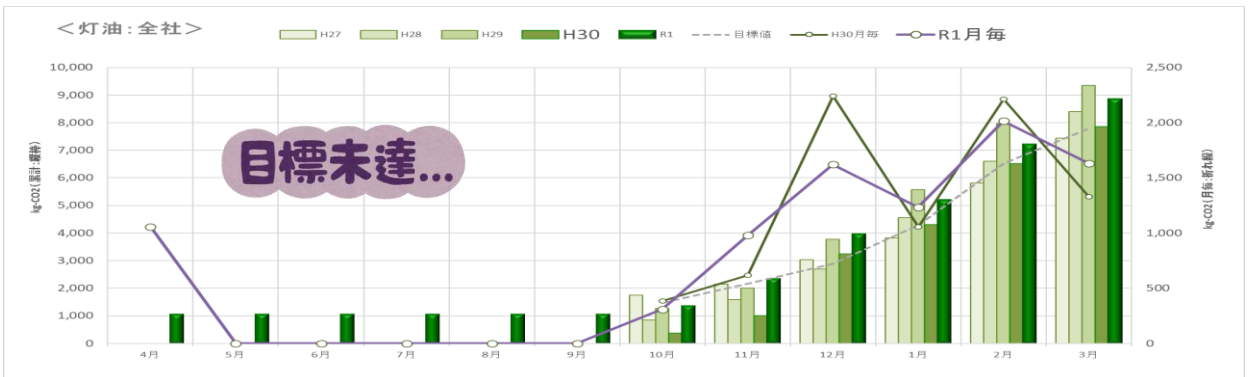
- 基準年度実績：
（本社）16,331 kg-CO₂（南陽）3,161 kg-CO₂
- 取組期間目標：14,408 kg-CO₂
- 取組期間実績：14,880 kg-CO₂
- 増減量：-4,612 kg-CO₂
- 増減率：-23.6%

【評価コメント】

本社18.5%減、南陽50.3%減と本社は目標には達しませんでした。その分南陽が昨年度に続き今年度も大幅な削減となりました。例年と比べ4月から5月にかけて気温が低いため暖房を使用していたり、10月からアルカリイオン電解水の生成が24時間フルに稼働していたことや新型コロナウイルス感染防止対策として換気をしたが暖房運転を行ったことにより削減率の低下に繋がったと考えられます。

■ 二酸化炭素排出量（灯油）

【R1年度目標】（本社）H28年度比8%削減（南陽）H27年度比23%削減
【中期目標（H28~R2）】（本社）H28年度比10%削減（南陽）H27年度比24%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4~R2.3）

- 基準年度実績：
（本社）6,893 kg-CO₂（南陽）1,886 kg-CO₂
- 取組期間目標：7,793 kg-CO₂
- 取組期間実績：8,849 kg-CO₂
- 増減量：+70 kg-CO₂
- 増減率：+0.7%

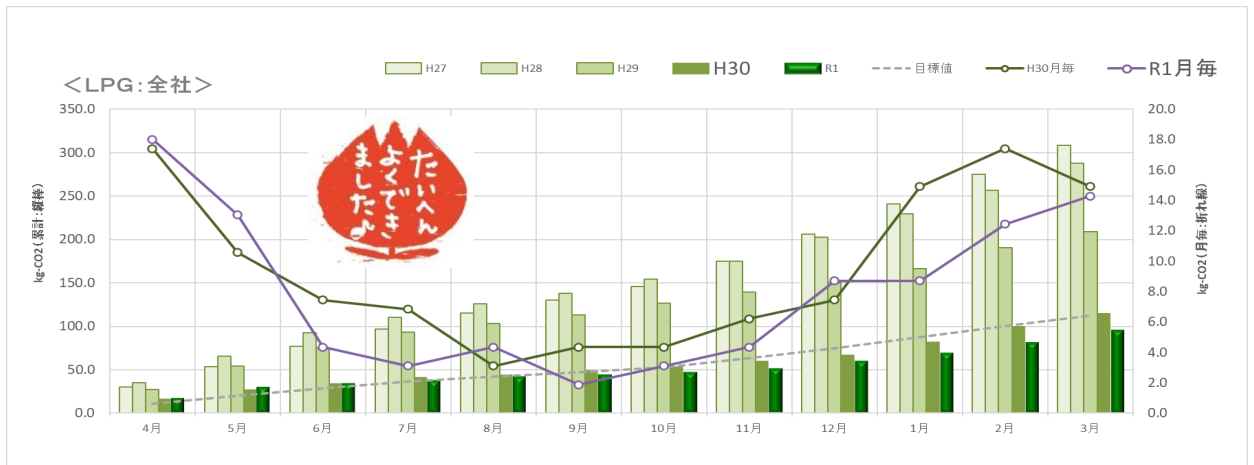
【評価コメント】

本社10.2%減、南陽14.6%増となり、全社として目標を達成することができませんでした。本社としては極力ファンヒーターを使用せず、エアコンを使用するように指導したことで使用量を削減できたと考えられます。南陽では上記電力と同様に新型コロナウイルス感染防止のため換気をしたままでファンヒーターを使用していたことが大きな要因として考えられます。

■ 二酸化炭素排出量（ガソリン）

【R1年度目標】（本社）H30年度比1%削減（南陽）H30年度比1%削減

【中期目標（H28～R2）】（本社）H30年度比2%削減（南陽）H30年度比2%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

■ 基準年度実績：

（本社）38,331 kg-CO₂（南陽）5,751 kg-CO₂

■ 取組期間目標：43,641 kg-CO₂

■ 取組期間実績：41,200 kg-CO₂

■ 増減量：-2,882 kg-CO₂

■ 増減率：-6.5%

【評価コメント】

本社7.0%減、南陽3.7%減と全社大きく目標をクリアすることができました。ハイブリッドカーへ車両を入れ替えたりしたことで燃費が向上し、使用量削減に繋がったと考えられます。また、暖冬の影響で降雪が少なかったため、暖機運転も減少し削減率向上することができました。

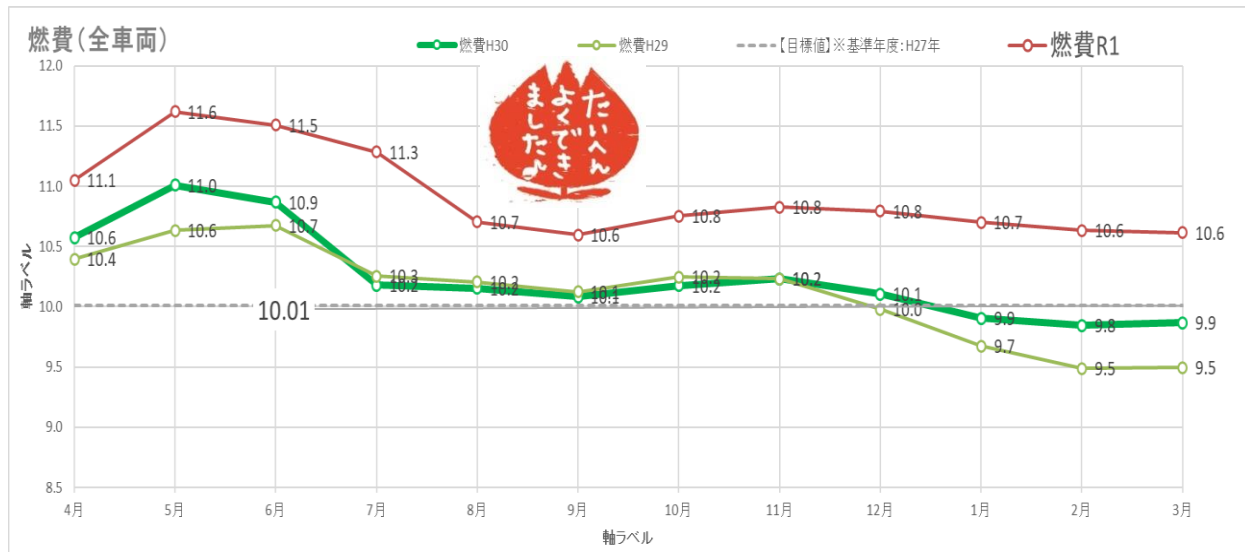


燃費の良い
軽自動車！



■ 燃 費

【R1年度目標】 基準年度燃費を19%向上
 【中期目標 (H28~R2)】 基準年度燃費を20%向上



【取組結果】 (取組期間: H31.4~R2.3)

- 基準年度実績: 8.41 k m/L
- 取組期間目標: 10.01 k m/L
- 取組期間実績: 10.62 k m/L
- 増減量: +2.21 k m/L
- 増減率: +26.3%

【評価コメント】

昨年度よりも大幅に燃費向上する結果となり、見事目標達成することができました。燃費の良いハイブリッドカー購入やその他車両を入れ替えたことや暖冬の影響による結果だったと考えられます。また、エコカーNo.1を決める「E-1GP」を開催することで社員一人一人のエコドライブの意識向上が成果を上げていると感じています。

社有車

E-1GP



2019-2020

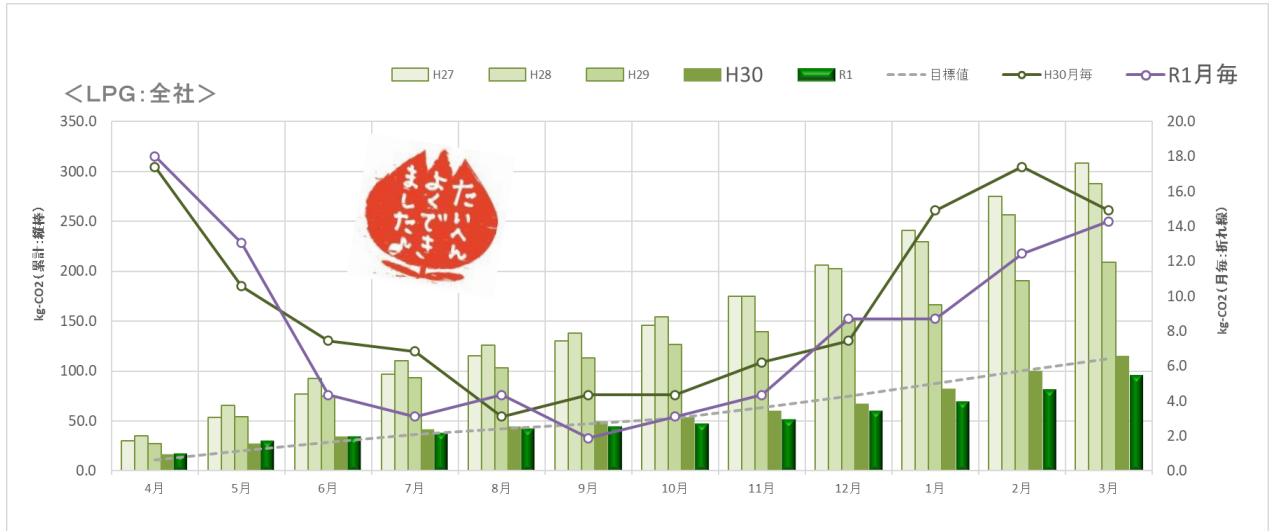
順位	種別	所属	登録年月	獲得ポイント
1位	日産ティッパ	清掃業務部	平成27年2月	47pt
2位	日産クッパ ^o - (南)	南陽営業所	令和元年8月	27pt
3位	日産クッパ ^o - (業5)	清掃業務部	平成30年8月	26pt
4位	日産クッパ ^o - (設3)	設備管理部	平成30年8月	25pt
5位	トヨタ ^o ムベックス	設備管理部	平成21年10月	16pt



■ 二酸化炭素排出量（LPG）

【R1年度目標】（本社）H27年度比54%削減（南陽）H27年度比71%削減

【中期目標（H28～R2）】（本社）H27年度比55%削減（南陽）H27年度比72%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

- 基準年度実績：
（本社）137 kg-CO₂（南陽）171 kg-CO₂
- 取組期間目標：112.7kg-CO₂
- 取組期間実績：96.3kg-CO₂
- 増減量：-211.7kg-CO₂
- 増減率：-68.7%

【評価コメント】

本社57.9%減、南陽77.5%減となっています。給湯用での使用のみとなっておりますが、昨年度同様に夏場の使用は控え、温度設定を低くするなどの成果が出ております。今後も使用ルールを徹底し、削減率向上に努めていきたいと考えております。

クリーンなLPG車



★低CO₂のクリーンな排出ガス

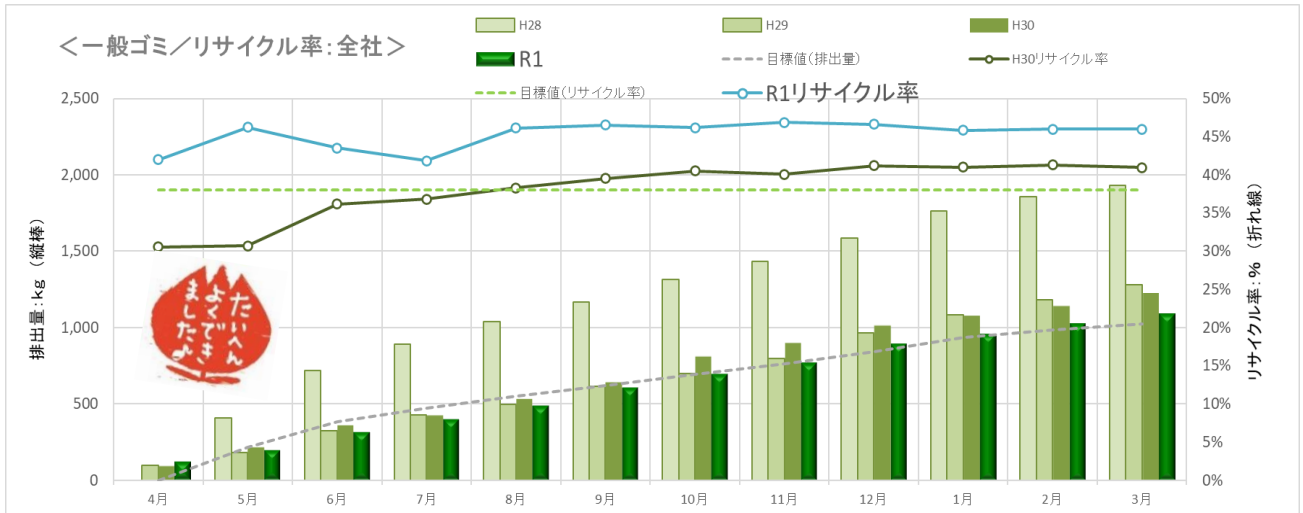
LPG車とガソリン車の二酸化炭素排出量を比較すると、2300ccクラスでは約8.7%、ハイブリッドタイプでは約8.0%程度、LPG車の二酸化炭素排出量の方が少なくなっています。



■ 一般廃棄物排出量

【R1年度目標】 H28年度比で排出量47%削減 / リサイクル率3%向上

【中期目標 (H28~R2)】 H28年度比で排出量39%削減を維持 / リサイクル率5%向上



【取組結果】 (取組期間: H31.4~R2.3)

■ 基準年度実績:

排出量 2,108kg (H28.4月は実績値を元に算定)
リサイクル率 30%

■ 取組期間目標: 排出量 1,117kg / リサイクル率47%

■ 取組期間実績: 排出量 1,087kg / リサイクル率46%

■ 増減量: 排出量 -1,021kg / リサイクル率 +16%

■ 増減率: 排出量 -51.6%

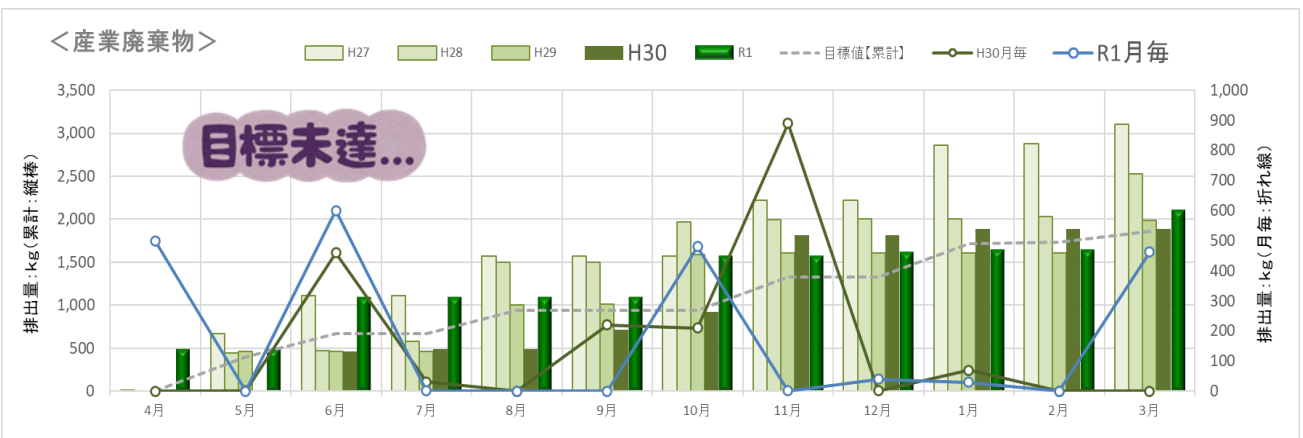
【評価コメント】

排出量は本社882kg、南陽205kg、リサイクル率は、本社45%、南陽52%となり、見事目標達成することができました。ゴミの持ち帰りや分別が徹底され、社員の省資源意識が年々構築されてきていると感じております。これからも社員一人一人の行動が排出量削減やリサイクル率向上へ繋がり、地球にやさしい環境を創り出していけると思います。

■ 産業廃棄物排出量

【R1年度目標】 H27年度比40%削減

【中期目標 (H28~R2)】 H27年度比45%削減を維持



【取組結果】 (取組期間: H31.4~R2.3)

■ 基準年度実績: 3,103 kg

■ 取組期間目標: 1,862 kg

■ 取組期間実績: 2,115 kg

■ 増減量: -988 kg

■ 増減率: -31.8%

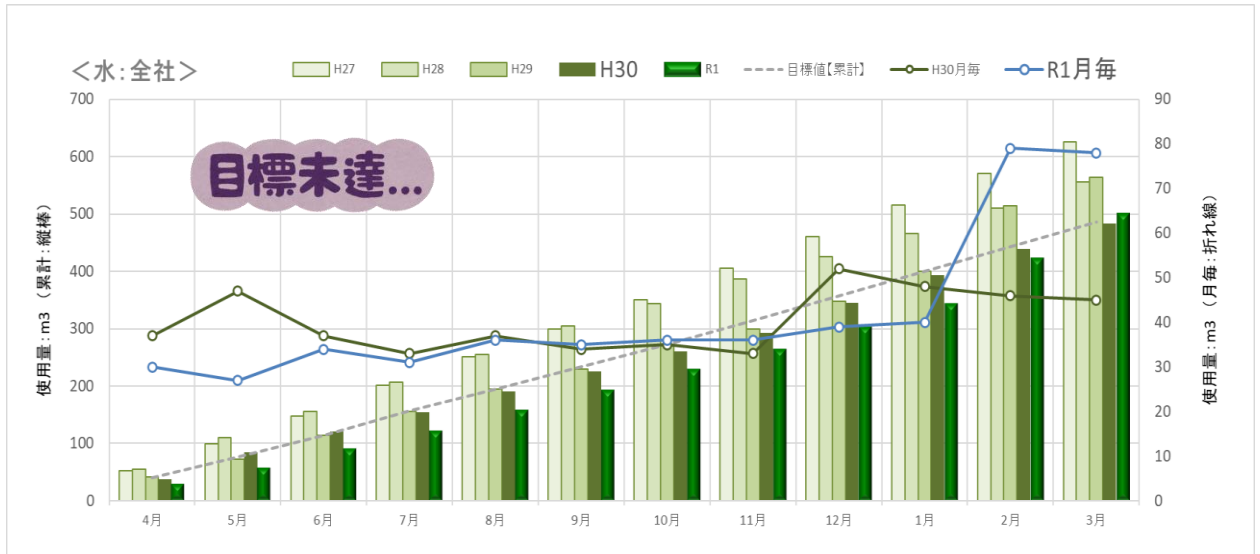
【評価コメント】

3月から6月にかけて剥離汚泥が生じる作業が多かったため、目標達成には至りませんでした。今後は強アルカリイオン電解水を取り入れた剥離作業を実施し、剥離汚泥の排出量削減に努めていきたいと考えております。

■ 水使用量

【R1年度目標】（本社）H27年度比13%削減（南陽）H27年度比40%削減

【中期目標（H28～R2）】（本社）H27年度比14%削減（南陽）H27年度比41%削減



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

■ 基準年度実績：

（本社）394m³（南陽）232m³

■ 取組期間目標：486m³

■ 取組期間実績：501 m³

■ 増減量：-125 m³

■ 増減率：-20.0%

【評価コメント】

本社11.1%減、南陽34.9%減でおしくも目標達成することができませんでした。アルカリイオン電解水生成の使用が増えたり、新型コロナウイルス感染防止のため、頻繁に手洗いするようになった結果、使用量が増えました。また、仕事量が例年より多い月があり、洗濯回数増加も原因として考えられます。

■ 化学物質使用量（PRTR対象物質）

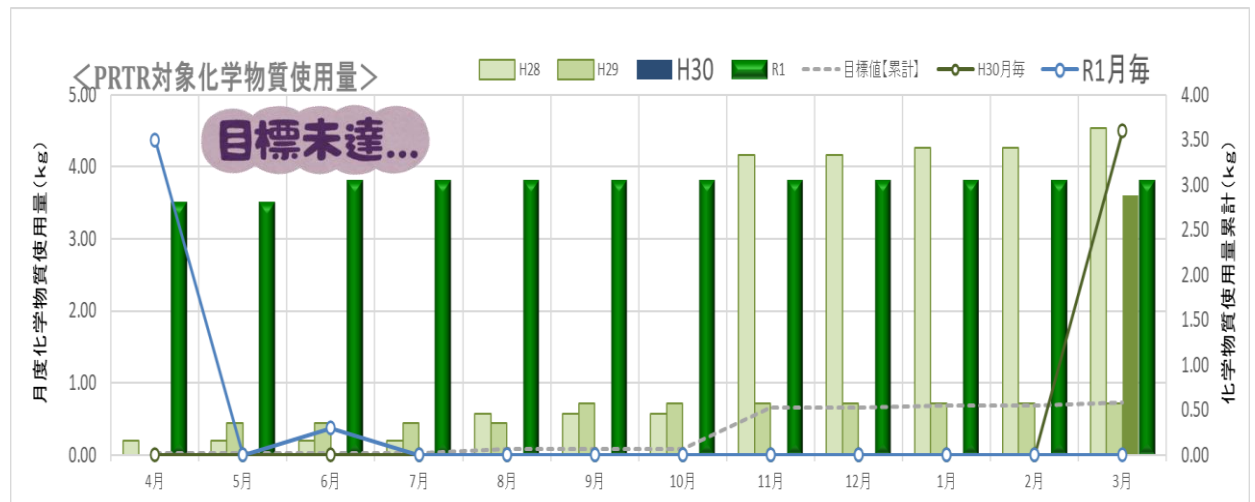
【R1年度目標】 基準年度比84%削減

【中期目標（H28～R2）】 基準年度比84%削減を維持

PRTR (Pollutant Release and Transfer Register)

：化学物質排出移動量届出制度

有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握し、集計し、公表する仕組み



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

■ 基準年度実績：4.5 kg

■ 取組期間目標：0.7 kg

■ 取組期間実績：3.8kg

■ 増減量：-0.7 kg

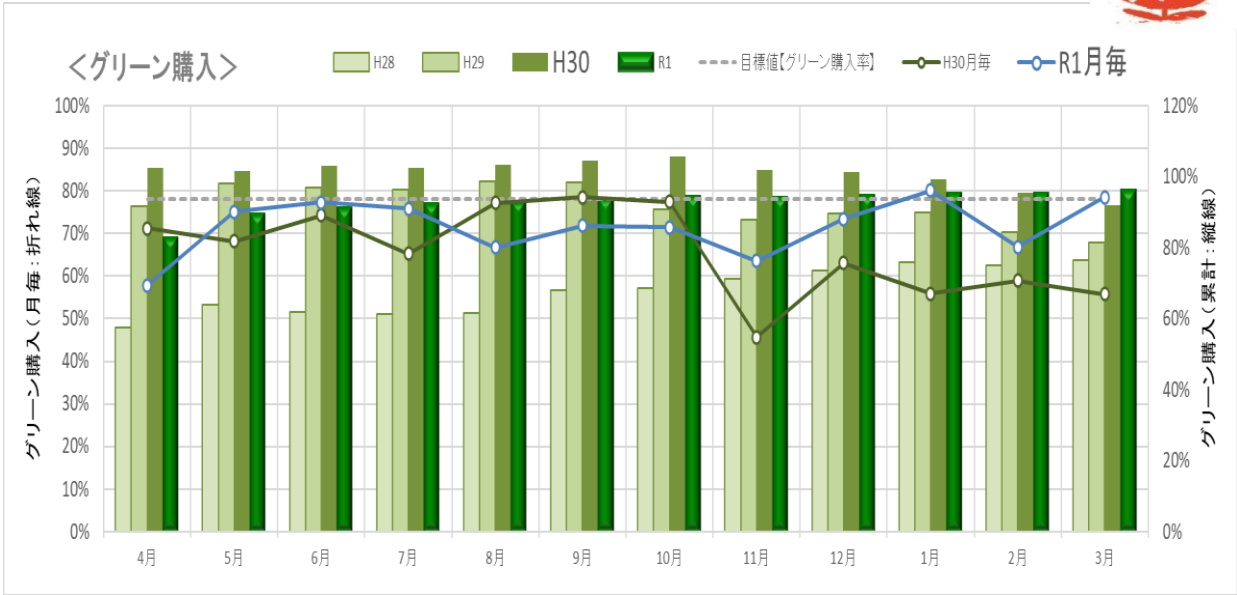
■ 増減率：-15.6%

【評価コメント】

清掃業務で使用している洗剤、ワックス、剥離剤を化学物質を含まない商品へ切替を行っておりますが、スポット剥離剤を4月に購入してしまったため、目標に達成することができませんでした。現在のところ代替品がないため、常時、情報収集を行い、切替を検討していきます。

■ グリーン購入

【R1年度目標】グリーン購入率78%以上
 【中期目標（H28～R2）】グリーン購入率80%以上



【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）
 ■取組期間目標：78%
 ■取組期間実績：81%

【評価コメント】
 4月新規施設準備のため、机やロッカーなどの備品購入（エコ対象外）が多かったが、その後は安定してグリーン購入を進めてきた結果、わずかではありますが目標達成することができました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

<p>1 貧困をなくそう</p>	<p>2 飢餓をゼロに</p>	<p>3 すべての人に健康と福祉を</p>	<p>4 質の高い教育をみんなに</p>	<p>5 ジェンダー平等を実現しよう</p>	<p>6 安全な水とトイレを世界中に</p>
<p>7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに</p>	<p>8 働きがいも経済成長も</p>	<p>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</p>	<p>10 人や国の不平等をなくそう</p>	<p>11 住み続けられるまちづくりを</p>	<p>12 つくる責任 つかう責任</p>
<p>13 気候変動に具体的な対策を</p>	<p>14 海の豊かさを守ろう</p>	<p>15 陸の豊かさも守ろう</p>	<p>16 平和と公正をすべての人に</p>	<p>17 パートナーシップで目標を達成しよう</p>	<p>SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS</p> <p>2030年に向けて世界が合意した「持続可能な開発目標」です</p>



■ 製品・サービスの環境負荷削減に係る環境目標

1) 社員のスキルアップ

…スキルアップ研修会の実施

社是ならびに経営方針に掲げる「技術・知識の向上」や「社員のスキル向上により、業務の効率化を図る」ため、業務の区分ごとに実施回数を定め、計画的に研修会を開催しています。

【R1年度1人当たりの実施回数】（延べ実施回数）

- 警備…2回（10回）
- 清掃業務…1回（11回）
- 設備 …1回（12回）
- その他の社員（指定管理・総務・電話交換等） 1回（2回）
- 新入社員研修 1回（4回）

今年も「電話対応コンクール置賜地区大会」に参加しました。結果は…残念ながら県大会には出場できませんでした。いずれは、全国大会出場を目指して☆

エービーエムは、セクション毎（警備・清掃業務・設備管理・指定管理等）に実施している研修において、エコに関する研修も取り入れております。
※写真はエコドライブ研修会の様子です。

(社) 日本電話コンクール協会
電話対応コンクール置賜地区大会



お客様へのサービスに欠かせない「実技指導」も積極的に実施しております。

2) 誤発報による緊急出動回数の削減 該当発生回数の把握&原因分析

【取組結果】（取組期間：H31.4～R2.3）

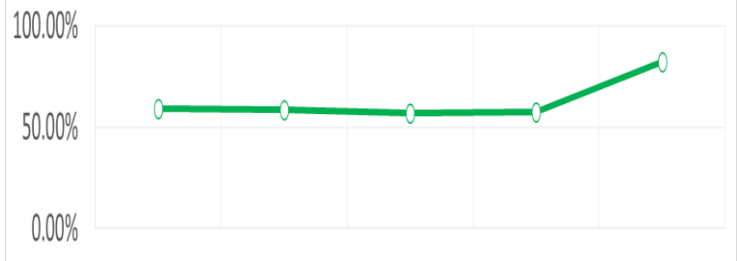
- 取組期間目標：40%
- 取組期間実績：82.1%

誤発報による出動回数、出動率ともに大幅に増加してしまいました。

11月にリサイクル施設からの誤発報が特に多く、原因として害虫や小動物の侵入が考えられます。そのため、センサーを赤外線からマグネット式に変更し、その後同様の発報は大幅に減少し改善されました。

その他の誤発報においても改善はされているものの、件数は多いため、引き続き開始ミスなどの誤操作等によるミスを防止するため、お客様への周知徹底を図って参ります。

誤発報出動率



	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度
誤発報出動回数	197回	215回	182回	159回	286回
全出動回数（駐車場対応除く）	334回	367回	321回	276回	348回
誤発報出動率	59.00%	58.60%	56.70%	57.60%	82.10%



■ 地域の環境保全（山形エコアクション21対応項目）

【R1年度目標】 会社周辺の清掃活動／環境保護団体の支援・協力

【中期目標（H28～R2）】 上記を継続的に実施



令和元年6月5日に開催されました山形県地球温暖化防止県民運動推進大会（主催：山形県地球温暖化防止県民運動推進協議会）におきまして、イービーエムの環境への取組について、山形県環境保全推進賞を受賞いたしました。この賞は山形県環境保全協議会が経済と環境との両立の理念のもと創設され、今回で21回目となるものです。

特に大きな投資をしていないにも関わらず、社員一人一人の取組だけでこのような結果を得ることができたことは大変すばらしいことだと思います。今後もさらにイービーエムのエコ活動を加速して参ります。

プロの清掃指導を実施中

窓ガラス清掃について、丁寧に基本的な清掃作業を高校生に指導いたしました。



WakuWakuWorkで現役高校生に指導



プロの警備指導を実施中

「警戒棒と警戒杖によるパフォーマンス」と救急対応の指導をいたしました。



4. 環境活動計画と取組結果 並びに次年度の取組内容



＜評価判定の目安＞

- …実施済。80%以上の社員が取組んでいる。80点以上の満足度である。
- △…一部未実施。50～80%の社員が取組んでいる。50～80点ぐらいの満足度である。
- ×…未実施。50%未満の社員しか取組んでいない。50点未満の満足度である。(是正処置の対象)

環境経営目標	活動・取組項目	活動の具体的内容 (どのよう)	実施時期 (いつまでに)	場所・対象者 (どこで)	担当者(管理者) (だれが)	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	備考、是正処置の必要性等	
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	■室温は、暖房期20℃、冷房期28℃で管理	冷暖房期間	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
		■サーキュレーターを稼働させ、室内温度差をなくす	暖冷房期間	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
		■使用していない部屋のエアコンはOFF	冷暖房期間	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
		■定期的にエアコンのフィルターを清掃	6月・11月	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
		■不要な照明は消灯	通年	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
		■クールビズの推進(機能性下着の着用)	夏期	全社員	鈴木正行	○	○	△	△		
		■ウォームビズの推進(保温性の高い下着の着用)	冬期間	全社員	鈴木正行	△	△	○	○		
		■パソコンは省エネモードで使用	通年	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
		■トイレの暖房便座は夏期OFF(温水の温度設定は「低」)	夏期(通年)	トイレ	鈴木正行	○	○	△	△		
		■グリーンカーテン	5月	事務所	田口浩之	○	○	△	△		
		■窓にすだれを垂らし、直射日光を防ぐ	7月	事務所	鈴木正行	○	○	△	△		
		■省エネ性能の高いエアコンへの入れ替え	H32まで	事務所等		×	×	×	×	R2入替予定	
		■融雪バルブの修理									
		■融雪装置適正利用手順書の策定	11月末				○	○	○	○	降雪センサーによる適正使用
		ガソリン・軽油使用量の削減 ※製品・サービス関連目標	ガソリン・軽油使用量の削減	■電力使用量の見える化推進(環境負荷データの揭示)	毎月	事務所等	鈴木正行				
■エコドライブの教育研修	1月			運転者全員	遠藤千尋				○		
■エコドライブ自己評価を実施(チェック表による)	10.1.4.7月			運転者全員	遠藤千尋	○	○	○	○		
■燃費・走行距離の把握(車両日報の記入)	通年			運転者全員	遠藤千尋	○	○	○	○		
■5000km(6ヶ月)ごとにオイル交換、10000km(1年)ごとにエレメント交換(ハイブリッド車は別途規定する)	通年			車両	遠藤千尋	○	○	○	○		
■適切な時期でのタイヤ交換	4月・11月			車両管理者	遠藤千尋	○		○		冬タイヤは11月1日から	
■適切な空気圧の維持	通年			車両管理者	遠藤千尋	○	○	○	○		
■エコタイヤの導入	通年			業務管理者	遠藤千尋	○	○	○	○		
■不要な荷物を乗せたまにしない	通年			車両管理者	遠藤千尋	○	○	○	○		
■業務の効率化(車両運行ルート管理)	通年			業務管理者	遠藤千尋	○	○	○	○		
その他化石燃料の削減 (灯油・LPG)	その他化石燃料の削減	■計画的な低燃費車両への入れ替え	5カ年計画	全車両	遠藤千尋	○	○	○	○	車両入れ替え時には低燃費車に9月ハイブリッドカー交換	
		■暖房温度は決められた温度以下で管理する。	暖房期間	暖房エリア	鈴木正行	○	○	○	△	コロナの影響でエアコン使用しながら換気をする非効率的な使用になった。	
		■窓の内側に断熱材を貼り付ける	暖房期間	暖房エリア	鈴木正行	○	○	○	○		
		■ウォームビズの徹底(服装による省エネ推進)	暖房期間	暖房エリア	鈴木正行	○	○	○	○		
		■必要最低限の温度で給湯(夏期は使用しない)	夏期を除く期間	事務所等	鈴木正行	○	○	○	○		
の削減と物適正管理	一般廃棄物の削減 (リサイクルの推進)	■窓を二重サッシにする	H32まで	本社・南陽		×	×	×	×		
		■廃棄物置場の整理整頓	通年	廃棄物置場	追木恵美	○	○	○	○		
		■不要な資料・カタログ等の辞退・返却	通年	全社員	追木恵美	△	△	△	△		
		■コピー用紙削減(両面コピー・裏紙利用の徹底)	通年	事務所	追木恵美	○	○	○	○		
		■一般廃棄物の排出量記録	排出時	廃棄物置場	追木恵美	○	○	○	○		
	産業廃棄物の削減と適正管理	■社内の整理整頓	随時	社内外	追木恵美	○	○	○	○		
		■保管場所の管理(安全衛生状態も含む)	通年	廃棄物置場	追木恵美	○	○	○	○		
		■汚泥の濃縮分離ならびに分離水の処理方法の検討と試行	通年	本社	追木恵美	○	○	○	○		
		■充電式乾電池への転換	通年	現場		○	○	○	○		
		■マニフェスト・契約書類の管理	通年	事務所	追木恵美	○	○	○	○		
■委託先の状況確認	2年に1度	委託先	遠藤雅之					H30実施			
化学物質	化学物質	■対象化学物質の管理	通年	本社	遠藤・五十嵐	○	○	○	○		
		■対象化学物質の削減	通年	本社	遠藤・五十嵐	×	○	○	○		
		■清掃方法の改善	通年	本社	遠藤・五十嵐	○	○	○	○		
総排水量	水道使用量の削減	■「節水」の揭示	通年	流し台	鈴木正行	○	○	○	○		
		■蛇口元栓の調整(必要最小限の流水量)	6月末	流し台	鈴木正行	○	○	○	○		
		■地下水の適正利用基準の策定と遵守	通年	敷地内	鈴木正行					積雪センサーの設置	
		■その他節水対策機器に関する情報収集	通年		鈴木正行	○	○	○	○		
グリーン購入	グリーン購入	■グリーン購入ネットワーク(GPN)認定商品(エコ商品)の選定	物品購入時	事務所	佐久間・嶋津	○	○	○	○		
		■事務消耗品のエコ商品購入率の把握	3ヶ月ごと	事務所	佐久間・嶋津	○	○	○	○		
		■車両・設備・機械等購入時のルール確立と実践	通年		田口浩之						
自主設定項目 (運サ)E21E22	社員のスキルアップ	■資格取得者の増加	通年	全社員	田口・五十嵐	○	○	○	○		
		■社内研修会・勉強会の開催、テキスト参考書購入補助	通年	全社員	田口・五十嵐	○	○	○	○		
		■機器点検の実施	通年	機械警備施設	遠藤千尋	○	○	○	○		
		■誤発報による緊急出動回数を減らす	通年	警備部	遠藤千尋	○	○	○	○		
山形E21関連	環境保護団体への協力	■異常発報件数の把握	通年	警備部	遠藤千尋	○	○	○	○		
		■対策の検討	通年	警備部	遠藤千尋	○	○	○	○		
		■環境保護団体への協力	通年		田口浩之	○	○	○	○		
山形E21関連	会社周辺の清掃活動	■「NPO環境ネットやまがた」の入会(支援・協力)	通年		田口浩之	○	○	○	○		
		■周辺道路のごみ拾い、草刈りなどの実施	月1回(冬期以外)	会社周辺	手塚直利	○	○	○	○		

5. 指定管理施設の環境負荷について

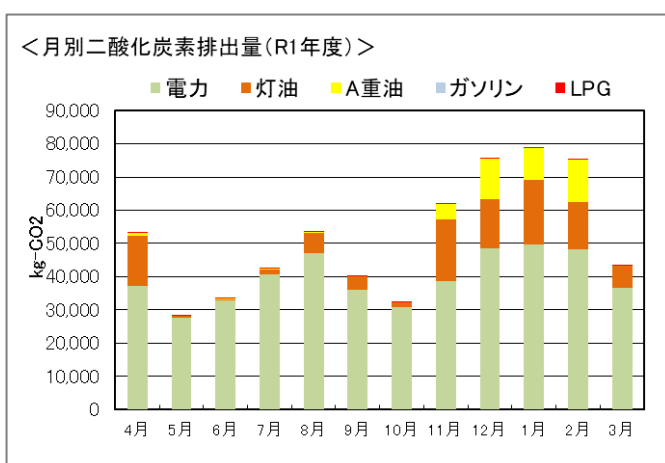
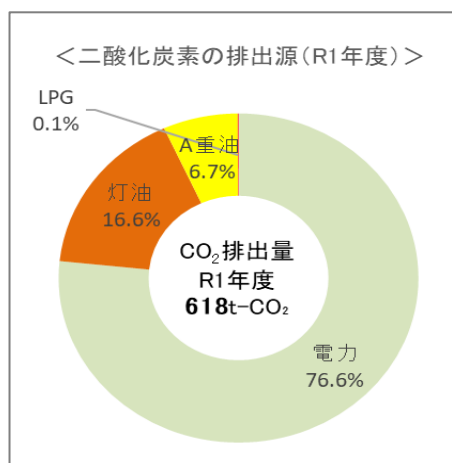


5-1. 環境負荷の現状(令和元年度環境負荷自己チェック結果(指定管理)より)

■ 二酸化炭素排出量

※電力使用に係る二酸化炭素排出係数については、H30年度東北電力(調整後:0.528)を用いています。

- 1) 指定管理施設における令和元年度のCO₂排出量は合計618,990kg-CO₂となっており、前年度比5.1%削減しました。これは平均的な一般家庭149軒分の排出量に相当します。(平成30年度1世帯あたりの平均年間排出量は4,150kg-CO₂: 出典: 温室効果ガスインベントリオフィス)
- 2) 指定管理施設から排出されるCO₂の76.6%は電力の使用を伴うもので474,394kg-CO₂(前年度比6.1%減)、次いで灯油の消費に伴うものが16.6%、102,548kg-CO₂(前年度比9.8%増)、A重油の消費に伴うものが6.7%、41,576kg-CO₂(前年度比22.4%減)などとなっています。
- 3) 電力は事務所の照明、冷暖房の稼働で使用しています。また、灯油、A重油は空調機ボイラー運転、事務所の暖房用、LPGは事務所給湯用となっています。
- 4) 月別のCO₂発生量は7月・8月の夏期間と12月～3月の冬期間(降雪期)に多くなっています。これは、冷暖房用の空調機を使用する機会が増えること、融雪用の地下水の引き上げポンプ(市営体育館)など、そして、主に暖房として灯油、A重油の消費量が増加するためです。
- 5) 以上のことから、特に電力使用量の削減が重点課題となりますが、指定管理施設は施設の利用によって電力使用量が大きく影響されるので、照明器具のLED化などによる省エネ機器への交換などを行政に提案し、実施していくことが必要であると思います。



■ 廃棄物排出量

- 一般廃棄物: 可燃ごみ・紙類(資源回収対象)などは、行政の分別ルールに従い、それぞれ、量を把握した上で排出しています。可燃ごみが最も多く、4,240kg、次いで紙類(再生資源)が3,225kgとなっていました。特に米沢市の職員が入っている置賜総合文化センターは紙類の排出が2,383kgと約7割を占めていますが排出量は2%削減することが出来ました。リサイクル率も44.4%と昨年より改善が見られました。
- 産業廃棄物: 総排出量の89%が汚泥でした。特に置賜総合文化センターの汚泥がそのうちの97.5%を占めています。次に多かったのは、廃蛍光灯で約1%でした。児童会館や文化会館はLED化が進行中なので排出量は少ないですが、体育館はそのうち48kg(68.7%)を占めていました。また、文化センターでは米沢市のゴミのルールに従って蛍光灯は産業廃棄物でなく、不燃ごみとして処分しています。

■ 総排水量(水使用量)

市営体育館・文化センターで融雪用に地下水を利用していますが、量は把握できません。水道は、すべて生活用水となります。総合計5,720m³使用しました。なお、放流先は全て下水となります。置賜総合文化センターは稼働日が多いため、水の使用量は多くなり、全体の7割を占める3,883m³となっており、市職員の協力もあり12.6%削減することが出来ました。

■ 化学物質使用量(購入量)

該当する物質について、本社・南陽営業所データに含まれています。

※各指定管理施設の環境活動レポートはこちらのQRコードから閲覧いただけます。



米沢市市民文化会館



米沢市児童会館



米沢市営体育館



置賜総合文化センター



南陽市勤労者総合福祉センター



6. 環境関連法規等の遵守状況、訴訟等の有無



6-1. 適用となる環境関連法規等とその遵守状況

当社が法的義務を受ける環境関連法規の遵守状況は、平成31年4月に関連法規一覧にまとめ、確認した結果、違反はありませんでした。

- 環境基本法等：問題なし
- フロン排出抑制法：問題なし
- 水質汚濁防止法（貯油施設）：問題なし
- 浄化槽法：問題なし
- 下水道法：問題なし
- 自動車リサイクル法：問題なし
- 家電リサイクル法：問題なし

6-2. 法令違反・訴訟等の有無

行政からの環境関連法令違反の指摘・指導、環境面での訴訟は、創業以来ありません。

7. 代表者による見直しの結果



平成28年12月2日にエコアクション21の認証登録を受けて、早4年が経過し、エコアクション21推進委員会を中心にわが社の環境経営活動が進められています。指定管理施設も加わり、エコアクション21の取組が全組織に拡大した令和元年度は、中間審査を12月に実施し、大きな指摘事項もなく、この取組がわが社の全組織に拡大しても環境経営システムは有効に機能していることが確認できました。令和元年6月にはわが社の環境への取り組みが評価され、県から「環境保全推進賞」を受賞することができました。

令和元年度の取組結果につきまして、これまで以上に厳しい目標を立てていましたが、おおむね計画通りに削減することができていました。しかし新型コロナ禍において、状況が一変し、残念ながら目標を達成することが出来なかった項目がありました。特に水の使用量については、社員の省エネ意識が高まり、前半は改善されていましたが、後半はコロナ禍で感染症予防のための「手洗い」の励行によって、使用量が増加してしまいました。また灯油の使用量についても同様に、感染症予防のため暖房を使用しながら換気のために窓を開けるという非効率な状態が続き、結果目標を達成することができませんでした。一方で環境負荷の大きいガソリン使用量の減少、燃費を向上させることが出来たのは、社有車を運転する社員一人一人がエコドライブに努めたことや、車両の入れ替えの際、低燃費車両へ計画的に入替を実施したことが要因と考えられます。令和2年度は本社事務所のリフォームを実施し、それに伴い、老朽化していたエアコンを一新、接触による感染を防ぐためにセンサー付きの照明にするなど、このコロナ禍においても、感染症予防しながら、業務を継続するために、様々な環境負荷軽減につながるハード面での改善を進めています。

新たな取組として、清掃作業で使用する洗浄液を環境対応型洗浄液「強アルカリイオン電解水」に変更いたしました。「強アルカリイオン電解水」は、強力な洗浄効果を発揮し、汚れを落とすあとは通常の水に戻るため「すすぎのいらぬ洗浄液」で従来の作業と比べると効率が向上します。わが社では、この「強アルカリイオン電解水」を生成する機器を購入し、この洗浄液を全ての現場の「アルカリ性洗剤」に置き換えることにより、環境への配慮、そして従業員の作業効率化による「働き方改善」を実現することが出来ました。

新型コロナによって社会のあり様が大きく変わっていますが、やれるものはすべてやる、困難な時こそチャンスが生まれる、このようなプラス思考で、令和2年度も経営側として環境への取組についてしっかりと支援してまいります。

株式会社 エービーエム 代表取締役社長 赤間 俊明



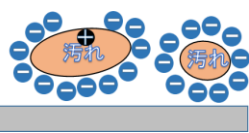


強アルカリイオン電解水生成機起動！！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol39」より

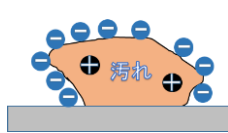
令和元年8月27日、エービーエムの清掃業務において、新たな一歩を踏み出しました。それは究極の環境対応型洗浄液「強アルカリイオン電解水」の生成がスタートしたことです。これは赤間社長が掲げたSDGsに沿った計画であり、赤間社長は、SDGsの中で、「化学物質の使用量を削減」するために、清掃業務において「強アルカリイオン電解水」の生成、使用しますと掲げました。この強アルカリイオン電解水は、水の電気分解によって水を改質し、浸透力が強まり汚れを界面から剥離、分散する事で化学合成の洗剤と同等以上の洗浄効果を発揮するもので、さらに電気分解にて強制的にアルカリを示す状態になった強アルカリ電解水は自然界には通常存在しない、とても不安定な液体です。みずから自然状態（通常の水）に回帰しようとする力「自己分解性」を持っています。強力な洗浄力で汚れを落とした後は、通常の水に戻るので「すすぎのいらぬ洗剤」です。この「強アルカリイオン電解水」生成機の導入は様々な効果をもたらします。

汚れを分解洗浄するメカニズム



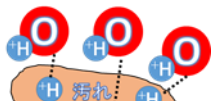
①汚れを浮かす

細かな水分子で出来たアルカリイオン電解水のもつ「マイナス」の電気によって「プラス」の電気を持った汚れが浮き上がる



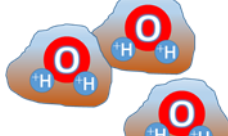
②汚れを乳化させる

浮き上がった油やたんぱく質などの汚れを包み乳化させ汚れを落とす



③汚れを結合

酸を失ったアルカリ電解水は、汚れや油分の酸に結合する



④汚れが水に溶け込む

「汚れ」の内部に入り込み水(H₂O)になることで汚れは「水との混和物」になり、水に溶解するように変化

これら4つの効果が相互に発揮されることで高い洗浄力を実現!!

1-1 作業効率化

「強アルカリイオン電解水」はすすぎが不要もしくは簡便ですむため、作業が効率化します。

250㎡の床ワックス掛けの場合	
従来の作業方法	アルカリイオン電解水の作業方法
必要人工 4名	必要人工 3名
作業時間 4時間	作業時間 2時間



1-2 環境対応型洗浄液

「水」から出来ているので、環境汚染物質を含みません。この環境に対応した洗浄液で清掃していることで企業価値も高めることが出来るのです。

令和元年度エコアクション大賞発表！！

環境コミュニケーションレポート「エコロジーVol42」より

勤務施設	氏名	エコアイデア	カテゴリー
山形県 公立大学法人	鈴木 みどり	水で乾かして取ってあった牛乳パックを切り開き、①底の部分をカットし、それをフライパンに残ったソース等を刮げ取る時に使う。②側面は生物(魚やイカ)の下処理をする時に、まな板の上に内側の白い面を上にして使用する。内側の部分はコーティングされているので、血が染み込むことにおいが移ることも無いのでとても良い。処理して残った物は、紙ごとそのまま捨てられる。②の牛乳パックは層になっているので、2枚に剥がすことができる。天ぷら等の揚げ物をした時に、剥がした面の上に置くと油の吸収が良い。	ごみ
山形大学 白楊寮	田村 真知子	・残り少ないお醤油のビン(ペットボトル)煮物作り時使い切ったお醤油ビンに水を入れて煮物に入れれば捨てずに利用出来た。 ・残り少ないマヨネーズも半分に切ってスプーンで使い切る。 ・カレーのお鍋 最後に、ご飯を入れてお鍋のカレーをごはんにもぐす。薄味ですがカレーチャーハンに！！とろけるチーズをのせてレンジでチンするとおいしいかも。	フードロス
ナセBA 本社	我彦 政孝 今井 勝博	通勤移動を自転車にする。(ダイエット兼)	ライフスタイル
本社	後藤 トシ子	冷蔵庫の内部に市販のビニールカーテンを張って、ドアを開閉した時、冷気が出来るだけ漏れないように工夫しています。	電気
本社	後藤 トシ子	野菜から出た皮や、くだものの皮などを捨てずにスプーンやだしに利用している。	フードロス
南陽営業所	嶋津 優美	食材のムダをなくすため、あえて献立をはじめから決めず、月4.5回の買出しで食材をまとめ買いし、冷凍できるものは小分けで保存。メニューもかぶらず、ある食材で作るため、ほぼ食材をムダなく使い切れる。	フードロス





新型コロナウイルス感染防止対策でECO!?

みなさんご存じのとおり、3月31日に新型コロナウイルスの感染者がついに山形県で出てしまいました。新型コロナウイルスに従業員一人一人が「かからない」「うつさない」意識を持って行動したいと思います。さて、コロナウイルスの感染を防ぐ手段として有効なのは「手洗い」ですが、手を洗う際に水を出しっぱなしにしていませんか？30秒間洗剤を使って洗っている間も水を出しっぱなしにしていると相当な水を無駄にしていることとなります。もちろん、コロナとエコは相反しますが、大変な中でも出来るエコをしていきたいと思います。そんな中で感染拡大防止のため、本社1階事務室及び2階会議室をリフォームし、セクション毎に最新のルームエアコンを設置しました。新型コロナウイルスは感染力が強いといわれています。換気の悪いところ、密集場所、密接場面、いわゆる3つの密を避けるため、社内でも大規模な対策を施したところです。車で出かけなければ、当然CO₂は削減できます。家でバラエティ番組を見て、笑うと免疫力がアップするという話もあります。なんでも笑うとNK（ナチュラルキラー）細胞が活性化するらしいです。さらに某乳製品400も免疫力を高めると評判です。自分を、大切な家族を守る行動をお願いいたします。



清掃業務課
事務室

2階総務課
事務室



設備管理課
事務室



What 's A-cology (えーころじー) ?



環境省が定めた「エコアクション21」という環境マネジメントシステムを導入し、その認証登録をいたしました。全社員がこの「エコアクション21」への理解を深め、より楽しくエコ活動を進めていただけるように、環境活動情報をこの「A-cology (えーころじー)」で発信してまいります。このA-cologyは、管理している指定管理施設などから発行される広報誌などの裏紙を再利用して発行しております。



代表取締役社長

赤間俊明のSDGs!



目標1

健康面で免疫力を低下させない、清潔を保つなど日頃から衛生管理を徹底します。

目標2

環境行動指針8「地域の環境保全活動に貢献する」に対して、指定管理施設や各施設で実施している清掃活動に自ら参加します。



塩アルカリイオン電解水生成機



ピースガードで
室内も清潔に☆



A-cology

号外

R2推進委員のSDGs！

環境管理責任者 田口浩之



環境管理責任者として、環境面での課題を把握し改善を進めて行くことで、エービーエムの環境への取り組みをさらに進めてまいります。

副環境管理責任者 遠藤雅之



環境負荷削減につながる社員が興味を引くような取り組みを積極的に発信し、社員の考動を促します。

副環境管理責任者 五十嵐久人



昨年は暖冬で積雪がほとんどないという冬を体験しました。逆に夏は経験したことのない豪雨や連日の高温でした。異常気象と言われる現象が確実に悪化していることを実感させられたため、気候変動を少しでもくい止めることが出来るよう、周囲に意識付けを行っていききたいと思います。

環境事務局 佐久間水里



コロナの影響により、昨年に比べてエネルギー使用量の大幅な増加が予想されます。そんな中でも出来るエコ活動の提示や環境作りに努めたいと思います。

環境事務局 嶋津優美



昨年に引き続き、エコを意識する環境づくりを進めるとともに自身の環境に関する知識を増やし、自分達の使用する資材、事務用品などにも幅広く、エコ意識を持って生活をして頂けるように、さらに周知していききたいと思います。



車両管理 芝勝也



誤発報出勤回数を減らすため、定期点検時にセンサー付近の環境を整えます。また客先の誤操作を少なくするため、操作方法を理解してもらいます。施設の回収・配布物の回数を減らし、走行距離を少なくします。

車両管理 小野菜々恵



エコドライブについての意識や目的ルートの再確認などを行い、CO²削減、燃費の向上を目標に取り組みたいと思います。

省エネルギー 島倉学



エネルギーの需要が増大する夏季及び冬季に省エネルギーの重要性を踏まえ、取組を浸透させたいと思います。各施設、各方面に省エネルギーの取組の呼び掛け、一人一人一体となった省エネルギーの取組の呼び掛け、去年のデータと照らし合わせ省エネルギー化を図ってまいります。

省エネルギー 清水達譲



今年度はエコへの意識を高めたいと思います。水、電気等の削減に努めたいです。電気に関しては充電式の機材が増えてきたので使用したら充電は出来る限り使用した場所で充電したいと思います。

廃棄物管理 追木恵美



住み続けられる街づくりを、海の豊かさを守るため、廃棄物の分別の徹底を周知します。

廃棄物管理 五十嵐俊亮



ゴミの分別管理を徹底します。捨てる前に再利用できないかを意識します。

地域貢献・環境美化・5S 手塚直利



月1回の早朝清掃活動を継続し、昨年実施できなかった外部団体主催のボランティア活動などを実施したいと考えています。

地域貢献・環境美化・5S 嶋貴穂乃香



5Sをしっかり取り組んで行く事です。必要な物と不要なものを区別して整理し、必要な物には使いやすい場所に整頓し、場所を取らない様にきれいに清掃し、その状態をしっかりと保てるように清潔にし、使用したものを元に戻せるように皆で習慣づけるようにしていきたいです。



指定管理施設のSDGs!

米沢市市民文化会館 数間淳祐



使用電力量の削減をするために、館内掲示物による周知の継続と舞台照明プランについても使用電力量を考慮したいと思います。またスタッフ全員でエコドライブを実践したいと思います。

米沢市児童会館 加藤俊彦



昨年目標とした「住み続けられるまちづくり」に対し、まだまだ取り組むべきことが多いと感じ本年も継続して取り組みたいと思います。

がんばれよ!



米沢市市民文化会館キャラクター「みっぺ君」

米沢市営体育館 大河原直人



節電・節水・廃棄物削減で大気、水質の汚染を少しでも減らしたいと思います。

置賜総合文化センター 加藤恵美子



館内外の環境美化活動を推進します。花壇の整備・花植えに始まり、水やり・草むしり・落ち葉拾い・グリーンカーテン設置の館内環境の整備を積極的に行っていきます。ペットボトルキャップの回収は、市職員、来館される方々にも支えられており、合唱サークル団体と連携を取り、車いす寄付活動に協力いたします。

南陽市

勤労者総合福祉センター 五十嵐久人



3R(リデュース・リユース・リサイクル)を徹底し、廃棄物を減らすことを掲げます。また、来館された方々が自然と調和した暮らしに関する知恵や知識を得られるようにし、持続可能な生活習慣に必要な情報や手段を提供していきます。



米沢市市民文化会館



米沢市児童会館



置賜総合文化センター



南陽市勤労者総合福祉センター



米沢市営体育館



継続は 力なり



この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。
ご希望の方は、本社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。
弊社HP (<http://www.y-abm.co.jp/>)、エコアクション21中央事務局
のHP (<http://www.ea21.jp/>)でもご覧いただけます。

〒992-0003 山形県米沢市窪田町窪田584-2
TEL0238-37-5733 FAX0238-37-2822
Email : sale@y-abm.co.jp

